

羽村駅西口 区画整理

市の開発計画の非現実性がうきぼりに

多くの市民が反対している現実を直視し、まちづくり計画の抜本的な変更を

今回は、6月議会で鈴木たくや議員がおこなった一般質問のうち、羽村駅西口区画整理事業についての内容をお伝えします。

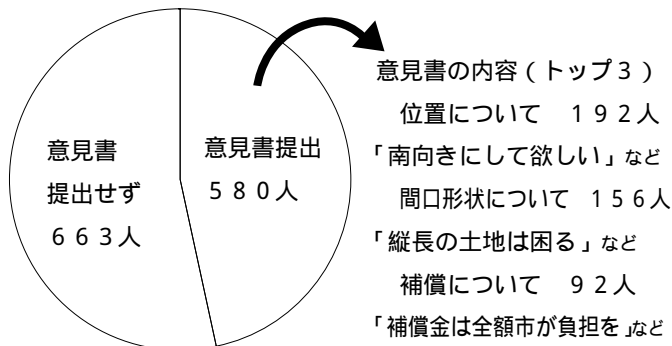
こんなに多い「納得できない」の声

羽村市は、羽村駅西口の4.2ヘクタールという広大な地域を「まっすぐ道の町並み」に作り変えるという区画整理事業をすすめています。

「まっすぐ道の町並み」にするためには、立ち並んでいる住宅を移動したり、道路用地を確保するために住民が土地を提供しなければならないため、多くの住民が反対の声をあげ、ねばりづよい反対運動が取り組まれています。

羽村市は昨年2月に具体的な設計案（換地設計案）を発表し、住民から意見を求めたところ、権利者1,243人のうち580人から意見書が提出されました。そのほとんどが「納得できない」の声です。権利者のほぼ半数にのぼります。

図1 市の設計図にたいする意見



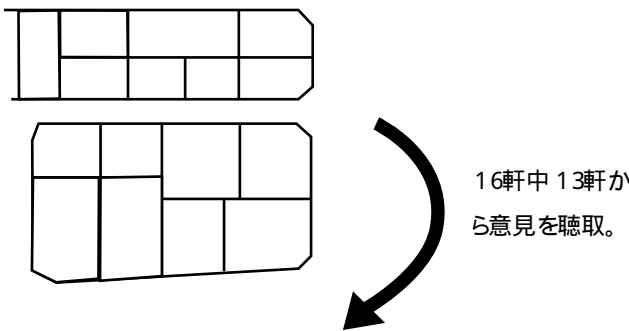
納得できない理由は、移転先の「位置」や「間口の形状」などが不満という声、また、「事業そのものに反対」の声など様々です。

現在、羽村市は設計案の変更作業をおこなっており、できるだけ意見書の内容を反映するよう設計案をつくり直し、事業への合意を進めたいとしています。

一画を歩いて詳しく調査

鈴木議員は、区画整理予定地の一画を訪問して、具体的にどのような声があるのかを聞いてきました。

図2 住民からの聞き取り調査



賛否	意見書提出	詳細		
賛成	5	0	条件つき賛成	4
			その他	1
反対	7	4	条件つき反対	1
			強く反対	6
どちらとも	1	0		

市の設計図では図2のような街区への移転を示された16軒のうち、13人にお話を聞くことが出来ました。

その意見をおおまかに分類すると、下表のようになります。

13人のうち西口開発に賛成の人は5人。反対の人は7人でした。

意見書を提出したのは、4名の方でした。反対でも意見書を提出していない方が3人いました。

賛成の5人のうち4人は「条件つき賛成」で、「今のままの設計図だったらいい」けれども、「設計図がかわってしまったら賛成するかどうかはわからない」という方でした。

一方、反対7人のうち6人は「強く反対」の方で、「減歩も精算金も納得できない」「そもそもこの開発はやるべきでない」などの意見をお持ちで、「設計図がどうかわっても、賛成に変わることはあまりない」という方でした。

議場での質疑。市の計画の非現実性を指摘

鈴木議員は、こうした調査結果をふまえ、質問をおこないました。(発言は内容を変えないよう若干変更してあります)

鈴木

今、換地(設計案)を見直していますでしょう。そうすると、これまで賛成だった方が「前の方がよかった」ということで反対に転じる方、きっと多いんでしょうね。

同時に、意見書を出した方でも、強く反対だから、こっちをこっちに移したとしても、「まだ反対」という方が多いんでしょうね。